



# 図書館通信

最上校図書委員会  
No.6 6月10日

## 6月図書館企画 希望図書アンケート結果特集

お忙しい中、アンケートにご協力ありがとうございました。先生方から、生徒に卒業するまで、ぜひ、読んでほしい本や購入してほしい本の紹介をします。



### 「君たちはどう生きるか」 吉野源三郎著

人間としてあるべき姿を求め続けるコペル君とおじさんの物語。

出版後80年経った今も輝き続ける歴史的名著。



### 「私は私のままで生きることにした」 キム・スヒョン著

人と比べて、何になる?誰かと比べて生きるなんて、もうやめたらいいよ。世界にたった一人しかいない“自分”を大切に



にして生きていくために、忘れないでほしい70のこと。

### 「生きづらさから自由になる気持ちのキセキ」 箱崎幸恵著



10代以上が対象の感情を理解するための絵本。子ども虐待防止のオレンジリボン活動から生まれ、感情の抑圧からの暴力を防ぐため、自分の感情を認め、受けとめ、表現する「エモーショナルリテラシー」を親しみのある言葉と絵で促し、自尊心を育む画期的な本。

### 「すぐやる人」と「やれない人」の習慣 塚本亮著

「難しく考えてしまい、結局動けない」「Aで行くか、Bで行くか悩んでしまう」など、すぐに行動に移せないことに悩む人は多い。

なかには、そんな自分を責めて、自分のことが嫌いになる人もいます。そういう想いをとっぴらっといざという時に行動できる自分になるために、心理学的見地と実際に大事にしている習慣をもとに説いていく。



### 「最高の毎日を手に入れる人生の10か条」 ジョン・ゴードン著

トラブルを不運と見るか、幸運と見るか。ネガティブな自分を変える2週間の物語。主人公ジョージは、ネガティブな性格のせいで、妻からは離婚を切りだされ、上司からは解雇をほのめかされ、部下からはまったく信頼されていない…。そんな人生どん底のジョージが、マイカーのパンクにより、2週間バスで通勤することに。バスで出会った運転手ジョイや乗客から「人生の10か条」を教えられ、徐々に人生が変わりだす。



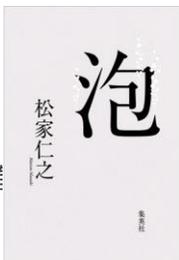
### 「置かれた場所で咲きなさい」 渡辺和子著



時間の使い方は、そのままのちのちの使い方。置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。「こんなはずじゃなかった」と思う時にも、その状況の中で「咲く」努力をしてほしいのです。

### 「泡」 松家仁之著

学校に行けなくなった薫が、家からも離れて見知らぬ土地で過ごす夏。そこには、言い知れぬ過去を持つ大人たちがいた。思春期のままならない心と体を鮮やかに描きだす、最初で最後の青春小説。



### 「君と、君がいる彼方」 末浦広海著

崩壊寸前の四人家族の前に現れた認知症の老人。玄人はだしの料理を作るその老人との触れあいを重ねるうち、妻と娘は恐るべき事実気づくことに。乱歩賞作家が贈る感動の物語。



### 「ははのれんあい」 窪美澄著

僕の家には、僕の家族には、恥ずかしいことなんて何ひとつない。死別、喧嘩、離婚、壊れかけた家族を救ったのは、幼い頃から母の奮闘と苦労を見守ってきた智晴だった。智晴は一家の大黒柱として、母と弟たちを支えながら懸命に生きていく、心温まる感動の家族小説。



### 「かすがい食堂」 加古屋圭市著



駄菓子屋の奥に、子どもだけの食堂開店！ 貧困、いじめ、摂食障害など問題を抱える子どもたちのために、楓子は店の奥の台所で食事を提供することにした。肉汁のあふれるハンバーグ、もりもりごはんが進む野菜炒め、皆で囲む寄せ鍋。楽しく温かい食卓を描く全四話。

## 参加賞



- 1年 安達 花怜
- 1年 菅 花織
- 2年 伊藤 優翔
- 2年 今田 春雅
- 2年 中川 大夢
- 2年 沼澤 龍樹
- 2年 松本倫太郎
- 2年 山本 悠斗
- 3年 吉田 愛海

## お楽しみ「福袋」完読！！

今年度から、図書委員会企画として始めました、お楽しみ“福袋”に多数参加していただきました。一人で3袋、読んでくれた人もいました。また、企画しますので、多数の参加、まってま〜す！



## オススメの新刊！



「六人の嘘つきな大学生」 朝倉秋成著

ここにいる六人全員、とんでもないクズだった。新世代の青春ミステリ！

「おもろい以外いらんねん」 大前粟生著

幼馴染の咲太と滝場、高校で転校してきたユウキの仲良し三人組。滝場とユウキはお笑いコンビを組むが？

「元彼の遺言状」 新川帆立著

亡くなった元彼は誰かに殺された！？女性弁護士が依頼人と共謀して分け前を狙う破格の遺産相続ミステリー！

「鳴かすのカッコウ」 手嶋龍一著

公安調査庁は、警察や防衛省と比べて、人もそんな最小で最弱の組織に入庁してしまった梶壮太は？

「あしたの官僚」 周木律著

厚生労働省キャリア技官の松瀬は、ある謀略により忖度官僚として国民の非難的となる。新時代の官僚小説。

「終わりの歌が聴こえる」 本城雅人著

事故死か、殺人か、それとも？執念の捜査を進める二人の刑事たち。音、絆、女、薬……あの日、あの部屋で、何があったのか？



## 2021 第一回 映画鑑賞会 in 最上校

### 「記憶屋」 織守きょうや著

主演：山田涼介・芳根京子



大学生の遼一は年上の恋人、杏子にプロポーズするが、その翌日から彼女と連絡が取れなくなってしまふ。数日後に再会した彼女は、遼一の記憶だけを失っていた。信じられない思いの遼一は、人の記憶を消せるという都市伝説的な存在「記憶屋」のことで知り、大学の先輩で弁護士の高原に相談して杏子の



記憶喪失の原因を探り始める。幼なじみの真希や高原の助手七海らと調査を進めるうちに、人々の中にある忘れたい記憶やその奥にある思いに触れていく遼一だったが？

期 日：6月17日（木）

時 間：午後3時50分～

場 所：生物化学室



※参加希望者は6月15日（火）まで、各クラスの申込用紙に氏名を記入すること。